

平成25年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）  
追跡評価結果

研究課題名	不斉自己増殖反応の開拓および超高感度不斉認識・不斉の起源解明への応用
研究代表者名 (所属・職)	碓合 憲三（東京理科大学・理学部・教授）

**【評価意見】**

物質の不斉構造がどのように生じたかは、生命の起源とも深くかかわる科学における重要なテーマであった。研究代表者は自ら発見した不斉増殖反応を通じてこの課題と取り組んできた。特別推進研究終了後も、基盤研究（S）の獲得や私立大学学術研究高度化推進事業により、研究の展開に努め、不斉を持たない核酸塩基のキラル結晶を起源とする不斉自己触媒反応や、アキラルなアルデヒドが形成するアキラル結晶の結晶面を利用したエナンチオ選択反応など、極めて独創的な成果を上げている。国際的な主要雑誌への論文発表、国際会議の組織・運営や数多くの招待講演などもあるが、特に顕著なのは、研究代表者の成果が「Soai 反応」として幅広い分野の研究者に引用されていることである。このような人名反応として受け入れられていることは、化学者の勲章である。

これらの実績から、特別推進研究の終了後もそれを展開するための活発な活動が行われ、また、研究成果の評価は世界的に高まっていると判断できる。